

J.P.S Doc No. 876-E

EXHIBIT No.

外交関係公表資料 (昭和十六年度) より、抜萃
(昭和十七年度)

六、支那事變支那成立周年記念日ニ於ケル外務大臣
談話 (七月七日)

本日大東亞戦下、初メ支那事變記念日ナリ而シテ事變支那成立
周年ニ當リテ、事變中心トシテ帝國、歩ム來ツタ途ニ顧
スニ共ニ支那事變處理ノ心構ニ付一言所懐ヲ述ベテモイ。
帝國傳統的外交方針ハ帝國ヲ安定勢力トシテ東亞、
平和確立ニ以テ世界ノ平和ニ貢獻セントスルモノナリ。帝
國ハ此ノ方針ニ基キ先ニ日支相提携ニテ東亞ノ興隆ヲ實現セ
シトテ希望スル目的達成、爲凡ニ爾努力ヲ拂ツテ来ヌモノナリ。方
滿洲事變以來兩國ノ關係ハ頓ニ惡化シ支那側ノ反日宣傳ニ
刺戟サレ相續シテ不祥事件が発生シ日支友好關係ノ樹立ハ容
易ナラズ此ニ對シテ思ハルモノガアツタ。
盧溝橋事件ハ右ノ趨勢ニ突発シテ、テアレガ帝國ノ
事件不擴大現地解決ノ方針ニ拘ラズ支那側ハ中央軍ヲ北上セ
シメ挑戰的態度ニ於テ來ツタ、我々モ是ニ對應スル態度ヲ
執ルコトナリ。事變發生後、避テ難キ形勢ナリツタ。更ニ月初旬
支那側ハ正規軍ヲ上海ニ侵入セシメ關係各國ノ勸告ヲ無視
シ遂ニ帝國ニ對シ攻撃ヲ加フルニ至ツタ、我々モ局面擴大ナリ
日支兩國ノ全面的衝突ハ不可避ナリ帝國トシテ斷テ之ヲ指直シ
執ル、此ハ我々ニ至ツタ。然レ乍ラ帝國、廢棄スル日支友好
ヲ期スルニ共ニ日滿支三國間ノ融和提携ノ實ヲ舉ゲルニトスル外他意
ナラズコトハ當時帝國政府ヨリ聲明シタ通り、右精神ハ今日

J.P.S. Doc. No. 876-E

92

迄支那事變處理、根本方針、支那を居にすべし、
皇軍、一掃、戦果、拘うて、蒋介石政権、ハ帝國、真意ヲ解セ
不渡リ、戦闘ヲ續テ、未ダ、一掃、昭和十二年一月、帝國政府、爾後
同政権ヲ討テ、之、帝國ト、果、提携スルニ足ル新機、支那政府、
ノ成立、展々、期待、是、日、支、西、國、國、文、ヲ、調整、ニ、更正、新、支、那
ノ建設、ニ、協力、ス、ベキ、旨、聲明、セ、リ、
次、帝國政府、ハ、國際情勢、ヲ、慮、テ、檢討、シ、支、那、事、實、究、極、ノ
目的、ハ、東、亞、永遠、ノ、安定、ヲ、確保、ス、ベキ、新、秩序、ノ、建設、ニ、在、リ、而、
國、カ、支、那、事、實、求、メ、ル、所、モ、亦、之、ニ、協力、ス、ベキ、新、秩序、ノ、出現、ニ、外、ナ、
ズ、ハ、方針、ヲ、確、立、シ、昭和十二年十一月三日、政府、聲明、ニ、於、テ、此、ノ
趣、旨、ヲ、中、外、ニ、公、表、セ、リ、次、官、ヲ、示、シ、而、シ、テ、此、ノ、不、動、方、針、ニ、基、キ、
更、新、支、那、ト、關係、ヲ、調整、ス、ベキ、條件、ヲ、卒、直、ニ、表明、シ、リ、カ、同年
十二月二十二日、發表、セ、リ、テ、所謂、近、衛、三、原則、ヲ、示、シ、其、ノ、内容、ハ、蓋、
隣、友、好、共、同、防、共、及、經濟、提携、ヲ、基、調、ト、シ、東、亞、新、秩序、ノ、建
設、ヲ、共同、目的、ト、シ、日、滿、支、三、國、ノ、聯合、ヲ、以、テ、共同、基、調、ト、通、言、ス、此、
此、帝國、ノ、真、意、ヲ、理解、シ、支、那、救、國、途、ハ、日、支、友好、ヲ、端、ニ、シ、他、ニ
求、ム、カ、ラ、ズ、ト、信心、シ、テ、危險、ヲ、冒、シ、重、慶、ヲ、脱、出、シ、リ、カ、現、國民
政府、主席、汪、精、衛、氏、來、メ、ハ、テ、日、氏、同、氏、ハ、重、慶、脱、出、後、日、支、和平、ノ、爲、
獻、身、的、努力、ヲ、傾、倒、シ、昭和十五年三月二十日、南京、ニ、新、中、央、政府
ヲ、樹、立、セ、リ、テ、日、氏、帝國、ハ、國民政府、ノ、間、日、支、西、國、ノ、相互、關係
ニ、關、ス、ル、條、約、締、結、ヲ、行、フ、カ、十二月二十日、ニ、至、リ、甚、ニ、存、條
約、調、印、ヲ、見、更、三、國、日、滿、華、三、國、共同、宣言、ガ、發表、ス、ル、ニ、在、リ、國
民政府、ハ、日、滿、西、國、三、條、ヲ、支、那、ノ、正、當、政府、ト、シ、テ、承認、セ、リ、且、
其、滿、洲、國、承認、ノ、問題、ヲ、解決、ヲ、見、テ、次第、ヲ、示、シ、

S.P.S. Doc No. 876-E

P3

茲古即事變處理、新段階に入り日支両国政府相携り、
東亞新秩序建設に邁進を以て、重慶に残留する行政權を
付し、軍事經濟其他諸事權を置かうが徹底の懷
減、同ルニトナリ、其後昭和二十二年五月主席、日
本訪問より東亞新秩序建設に對する協力が更に明確ニナ
リ、外、國民政府に對する三億圓の借款供与、トモ決定
され、更に主席帰國後同モ、十月初旬に、独伊兩國
ヲ初メ、十箇國ニ依り、國民政府、承認を行ひ茲ニ同政
府、國際的地位、益々確立スニ至リ、ナリ。

然レ日本、提攜を希望する事變、決定、尙言ミタ
者、米英、同國ヲ以テ、支那事變中、亦三國關係
ヲ概觀ス、作戰行動ニ伴ひ必然的ニ發生スル三國
權益保護、問題ニ関し帝國に、苟モ正當ナル權益ヲ
不限り之ヲ侵害スルナリ又作戰上眞ニ已ラ得ザル
ニテ、損害ニ付し、總テ之ヲ救済方法ヲ講じタベカリテ、
ノ場合ニ依り、亦三國權益保全、良策ヲ作戰上、
不利ヲ必スナリ、ナリ。

然レ進一世紀ニ至リ東亞侵略、野望ヲ志シ、米英
米英諸國に對し、日支間ニ宣戰、亦若干以上支戰國
トシ、日本、權利ヲ認むルニ、主權ナリ、或ハ支那に於
テ、治外法權ヲ有スル日本側、軍事上、必要ニ基き、
措置ヲ一承服スルナリトシ、帝國が彼等、眼前テ大規
模ニ作戰ヲ實施シ、進一世紀ニ至リ、廢然其事實ニ對シ、

J.P.S. Mac No. 876-E

P4

敵、ノ態度ニセウ、ミナラ大進ヲ將政權ヲ使旅援助ニテ推
日繼續ニ狂奔セシム等一トテ事變解決ヲ妨害スルモ、ハ
ナク、ソノ間帝國ハ極メ公正ニ態度ヲ以テ各種沙外案
件ノ解決ヲ計リ彼等ノ蒙ラザルニ努力シタルヲ遂ニ米國ハ
昭和十四年日米通商航海條約ヲ破棄スルノ暴舉ニ至リ
公然對日經濟壓迫ノ旗幟ヲ闡明シ更ニ客年七月佛國
政府ト、協定ニ基キ南部佛印ニ一部皇軍ヲ進駐ヲ見
ルヤ英國ヲ誘ヒ對日經濟凍結ヲ斷行シ名實共に經濟
戦争ヲ開始スルヲ以テ、ミナラ大進ヲ將政權ヲ使旅援助ニテ推
帝國政府ニ於テハ銀上米穀兩國、特行ニ行ハズ
ノ反省ノ求ムルニ基キ客年七月米國
側ノ無理解ヲ中止スルヲ交渉ヲ行ハシメ十月ニ特ニ米
栖大使ヲ派遣スル等最後迄努力ヲ試ミタル兩國ハ甚ノ謬
見ヲ固執スル共ニ帝國ノ實力ヲ輕視シ十月ニソノ米國
政府ハ東亞ノ事態ヲ滿洲事變及ソノ復讐ニシメトスルガ
如キ因襲ヲ脱スルニ及ビ遂ニ兩國ヲ相手トシテ干戈ヲ取ルコト
ナシ至リタコトハ開戦直後公表セリ運リテ也

斯ノテ支那事變中支那ノ陰ニカミテ居ル敵ヲ遂ニ逐
現ハシ帝國ハ米穀ニ對シ宣戦ヲシテ支那事變カラ策
亞戦争ニ至リ紅線ニ顧ミル時ハ大東亞戦争ノ意ハ甚カ多
手東亞ニ蟠踞シテ米ヲ米穀及米菜依存勢力ヲ東亞、
天地カラ驅逐シハ紅線中、大義ニ由リ新秩序ヲ建設
セシメ下ルコトヲ明確ニ感得スルコトヲ出来ル

P6

J.P.S Doc No. 876-E

證明書

国際検査部 八七六号

典據及公正之関入證明

余、林殿、余が下記ノ資格ニ於テ、即チ日本国外務省
 文書課長トシテ、日本政府ノ公的関係ニ於テ、且ニ該
 官吏トシテ余が茲ニ添付セシタルニテ、百ヨリ成ル、千九百四
 十三年、昭和十八年、五月、附下記題名、即チ外務省調査
 局オ四課、編纂、昭和十七年度及同十八年度、外交関係
 公表集、余ハ更ニ添付ノ記録及ニ文書ガ日本政府、公文書タルト、並ニ
 右ガ下記名稱ノ省又ハ、部局、公文書類及ニ綴、一部、且ニ
 トウ證明ス、在リテ、綴番号、又、引用、其他公文書類又
 ハ綴ニ於テ、該文書、或規所存、公文名稱ヲモ特記スベシ、
 外務省
 千九百四十二年、昭和三十一年、九月十八日

東京ニ於テ署名
 当該官吏署名捺印
 證者ノ公的資格
 人

/ HAYASHI Kaoru / 林 馨 / 署名捺印
 / Oda Nagaharu / 尾 戸 長 春 / 署名捺印

本人手ニ関ス證明

余、リチャード・エドワード・ハリス、余が、聯合國最高指揮官
 總司令部ニ關係スルモノナルコト、並ニ上記證明ハ、余ガ
 公認シ、日本政府、上記署名官吏ヨリ入手シタルモノナルコトヲ
 前ニ證明ス

千九百四十六年、昭和三十一年、九月十九日

東京ニ於テ署名
 氏名稱
 人

/ Richard H. Larrick / リチャード・エドワード・ハリス / 署名
 右ノ者ノ公的資格
 證者ノ公的資格
 人

109UCH / 署名
 109UCH / 署名